

本件は警察庁からも発表しています。JAFからは、国土交通省記者会、自動車産業記者会へ資料を配付しております。

本部広報2014-012
2014年6月11日

チャイルドシートの使用率は61.9%

調査開始以来最高の使用率となるものの、子どもの年齢が高くなるにつれて使用率が低下する傾向は変わらず

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 小栗七生）と警察庁は、4月20日（日）～30日（水）の間、自動車乗車中の6歳未満の子どもを対象に「チャイルドシートの使用状況」と「チャイルドシートの取付け状況、着座状況」調査を全国で実施しました。結果は、以下のとおりです。

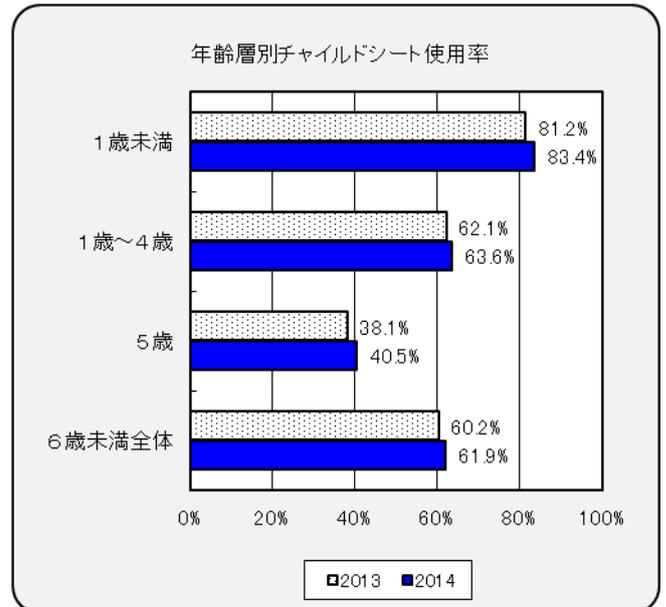
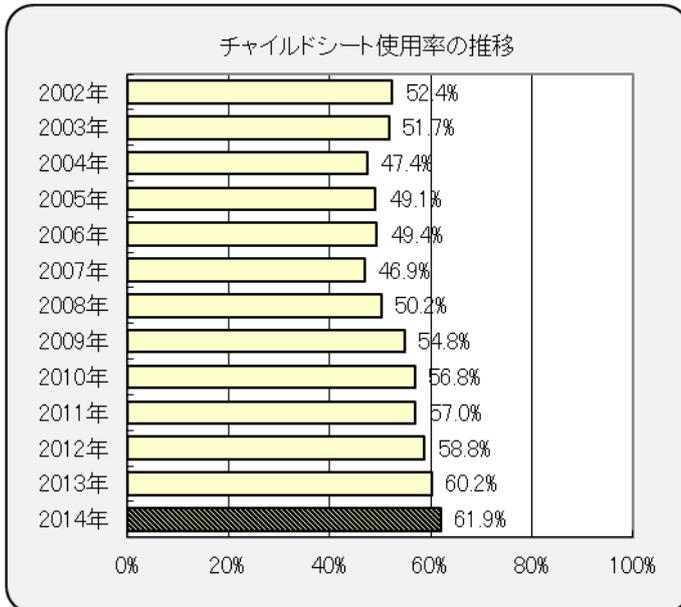
（1）チャイルドシート使用状況調査

- ① 調査場所 全国100カ所
- ② 調査対象 12,928人
- ③ 調査結果

6歳未満全体の子どもの使用率は7年連続上昇し、61.9%（前年比1.7ポイント増）となり、2002年の合同調査開始後、最高の使用率となりました。

しかしながら、依然としてチャイルドシートの使用が必要な子どもに対して4割近くが十分な安全対策が取られていないという結果になりました。

また、1歳未満の乳児に対する使用率は83.4%であることに対し、5歳児の使用率は半分以下の40.5%となるなど、子どもの年齢が高くなるにつれて使用率が急激に低下する傾向は例年と変わりませんでした。



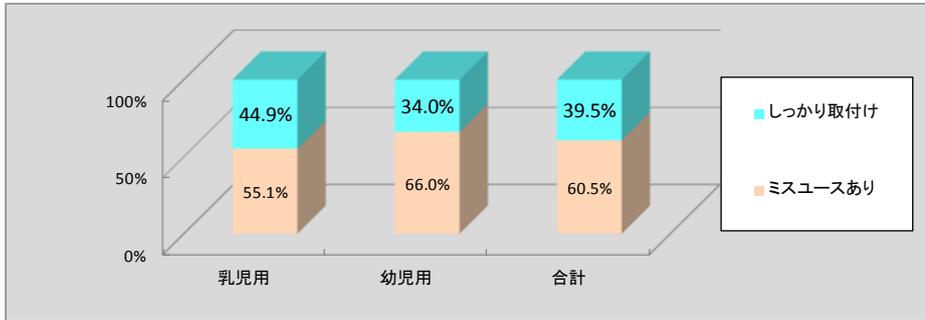
(次ページへ続きます)

(2) チャイルドシート取付け状況調査

- ① 調査場所 全国8地域（北海道・宮城・東京・愛知・大阪・広島・香川・福岡）
- ② 調査対象 413シート
- ③ 調査結果

取扱説明書通り正しく取付けられていたチャイルドシートは、乳児用・幼児用シート全体で39.5%。

ミスユースの多くは、チャイルドシートを固定するための「腰ベルト（シートベルト）の締付け不足」でした。詳細は添付資料をご参照ください。

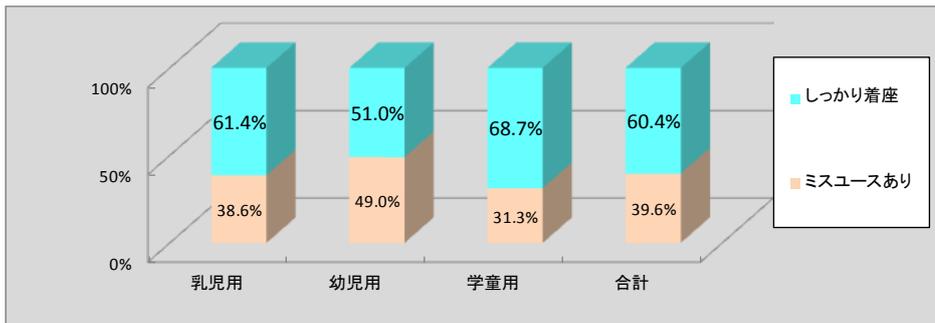


(3) チャイルドシート着座状況調査

- ① 調査場所 上記(2)の取付け状況調査と同様
- ② 調査対象 624人
- ③ 調査結果

取扱説明書通り正しく着座していた子どもは、全体で60.4%。

乳児用・幼児用シートのミスユースは「ハーネス（チャイルドシートの子ども用ベルト）の高さ調節と締付けの不適正」、学童用シートは装置に対する使用時期が早すぎる「体格不適合」が多く見られました。詳細は添付資料をご参照ください。



JAFでは、子どもの車内での安全を守るため、適正なチャイルドシートの使用に関する啓発活動を積極的に進めてまいります。

◆添付資料 2014年チャイルドシート使用状況全国調査結果（2頁）

※「2014年チャイルドシート使用状況全国調査」結果（PDF）は、JAFホームページでダウンロードできます。→<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/data/index.htm>

このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報部

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912

E-Mail:koho@jaf.or.jp URL: <http://www.jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館